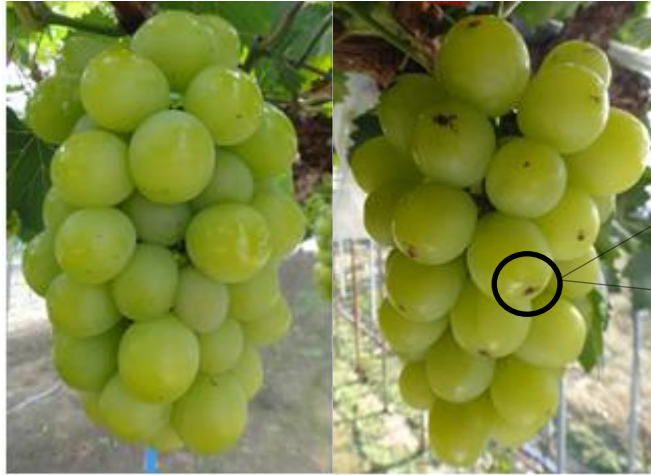


果物の女王「マスカット」の 小さくても手強い敵、ネギアザミウマ



ネギアザミウマによる被害(右)と
被害のない「マスカット」(左)



- ～被害果粒先端の拡大～
- ・ネギアザミウマによる白い加害痕(矢印)と加害痕上に増殖した褐点病(黒変部)
 - ・右下:ネギアザミウマ、体長1.3mm

開発のねらい

全国1位の生産量を誇る「マスカット」には、果粒の先端に褐色の斑点が付くことがあり、外観品質を著しく損なっていました。そこで、この原因を究明し、防除対策を確立しました。

新技術の概要

- ネギアザミウマがブドウ果粒を加害することを、日本で初めて確認しました。
- ネギアザミウマの加害痕にカビが増殖して、被害が拡大します。
- ネギアザミウマは、「マスカット」の果粒が約2cmより大きくなると加害し、それより小さい幼果期にはほとんど加害しません。
- ネギアザミウマの加害時期に合わせた防除対策を確立しました。

活用場面

見た目も味もすばらしい最高の「マスカット」を消費者に届けられるようになります。同時に農家経営が改善され、「くだもの王国おかやま」のブランド力がますます高まります。